

～物忘れ外来を受診された患者さまへ

本研究は、今後、診療において DASC-21 という認知症アセスメントを有効に活用するため、物忘れ外来で専門的な診断を受けたすべての患者様のデータを参照することで、代表的な認知症における臨床重症度別の DASC-21（認知症アセスメントシート）の下位得点の分布の特徴を検討したり、より簡便に重症度の高い方をスクリーニングする一助となる DASC の参考値を示すことを目的としています。

研究題名：「変性性認知症と MCI、正常範囲内の各群の認知機能と生活機能の特徴

—物忘れ外来患者の DASC-21 の得点分布の比較および日常生活自立度Ⅲ以上の判別に有効な DASC-21 の活用のあり方について—

研究期間：2013年 10月 1日 ～ 2020年 5月 31日

研究責任者：古田 光

研究実施責任者：扇澤 史子

(2) 研究の方法について

物忘れ外来を受診された患者様の基本的背景（年齢、性別、既往歴、経過等）、認知機能検査（改訂長谷川式簡易知能評価スケール（HDS-R）、Mini Mental State Examination（MMSE）等）、脳画像検査（CT 等）、問診票にて記載いただいた DASC-21 のデータを集積させていただきます。

上述の情報と医師が評価した認知症重症度評価法（CDR）を用いて、重症度別の DASC-21 の得点分布を検討いたします。

(3) 資料の保管と、他の研究への利用について

本研究を行うときには、データは個人情報とは完全に分離した形で取り扱っており、結果も平均値として示されますので、患者様の個人情報が漏れる心配はありません。また、研究成果を国内外の学会や論文で発表する場合も、個人は特定できないようにしております。他の研究への利用もありません。この研究のために使われる患者様の情報は全て、本研究終了後に廃棄いたします。

(4) 問い合わせ先

東京都健康長寿医療センター精神科 扇澤史子

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35-2

電話 03-3964-1141 (平日 9:00～17:00)